

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-500110(P2005-500110A)

【公表日】平成17年1月6日(2005.1.6)

【年通号数】公開・登録公報2005-001

【出願番号】特願2003-522046(P2003-522046)

【国際特許分類】

A 6 3 F 13/12 (2006.01)

A 6 3 F 13/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 13/12 C

A 6 3 F 13/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月19日(2005.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記ステップを含むオンラインゲームシステムを操作する方法：

a) 複数のプレーヤの各々からゲームをプレーする料金を受ける；

b) 各プレーヤに対して賞金資金を設定する；

c) 各プレーヤの賞金資金から提供された勝利賞金資金のためにプレーヤを一緒に戦させてゲームをプレーする；

d) 各プレーヤの賞金資金から提供された勝利賞金資金をゲームを勝ったプレーヤに与える；

e) プレーヤが予め決められた回数の連続したゲームを勝つまで複数のゲームラウンド数についてステップc)及びd)を繰り返す；及び

f) 勝ったプレーヤに彼の賞金資金の総額を与える。

【請求項2】

下記ステップを含むオンラインゲームシステムの操作方法：

複数のラウンドを含むゲームの料金を各プレーヤから受ける；

受けとった料金に基づいて賞金資金を各プレーヤに設定する；

プレーヤにプレーするゲームの選択権を与え、プレーヤからゲーム選択を受ける；

各プレーヤの賞金資金に等しい賞金資金のために同じゲーム選択をしたプレーヤを無作為に互いに対戦させる；

ゲームから敗者をはずす；

プレーヤがラウンドで敗けるか又は予め決められた回数の連続したラウンドを勝つまでゲームのさらなるラウンドをプレーするために勝者をプレーヤと無作為に対戦させる；及び

予め決められた回数の連続した勝利の後、全ての蓄積された賞金資金の少なくとも大部分を勝者に与える。

【請求項3】

全ての蓄積された賞金資金はその資金が予め決められた額より大きくない限り、予め決められた回数の連続した勝利の勝者に与えられる請求項2に記載の方法。

**【請求項 4】**

複数のプレーヤとオンライン通信するシステムサーバ；  
プレーヤによってプレーされる複数のゲームに関するソフトウェアを実行するためにシステムサーバに結合されたゲームサーバ；  
ゲームプレーヤからの指示でゲームプレー料金をシステムサーバに与えるためのシステムサーバに結合された請求書作製コンピュータ  
を含むオンラインゲームシステムであって、  
前記システムサーバが利用可能なプレーヤからプレーヤのゲーム対戦者を無作為に生成するための手段；ゲームの各プレーヤによって所有される賞金資金をゲームの勝者に割り当てるための手段；及びプレーヤが予め決められた回数の連続した勝利を達成すると全ての蓄積された賞金資金を請求書作製コンピュータに通信するための手段を含むシステム。

**【請求項 5】**

プレーヤはデジタル電話を介してシステムと通信する請求項4に記載のシステム。

**【請求項 6】**

プレーヤはP Cを介してシステムと通信する請求項4に記載のシステム。

**【請求項 7】**

プレーヤはゲーム操作盤を介してシステムと通信する請求項4に記載のシステム。

**【請求項 8】**

プレーヤは携帯電話を介してシステムと通信する請求項4に記載のシステム。

**【請求項 9】**

プレーヤはP D Aを介してシステムと通信する請求項4に記載のシステム。

**【請求項 10】**

下記ステップを含むオンラインゲーム環境の提供方法：  
プレーヤにゲームをプレーする料金を請求する；  
料金から導かれたプレーヤ賞金資金を設定する；  
プレーヤを無作為に互いに対戦させ、全ての利用可能な賞金資金が予め決められた額より低いならその賞金資金を一人のプレーヤに与える；及び  
プレーヤが複数の連続したラウンドのゲームを勝ったときだけ賞金資金に等しい賞金をプレーヤに与える。